

## Second Column



2024.3

### 近頃の出来事

vol.25 「ウチの復活祭」

上海酒家 店長 廣田 麻美



広報部長 太郎くん

ど〜も〜廣田です。ご無沙汰しています。3月に入り漸く春めいてきた一っち、感じですが、温くなったり、寒なったりで、冷え症にはこたゆばい！して、東京都では、カスハラ条例が出来るそうです。大賛成ザンス。この前見たカスハラ(怒)某ショップでの出来事ちゃけど、ある薄汚い年配の男性。レジの所でタバコを2個購入しよった。若い定員さんから、勿論千幾らですち、請求されたら、何処でスイッチが入ったのか、レジじゃない所で「ホレっ」ち、千円札1枚投げた(驚)プチギレた定員さん「お金は投げないでください」見よったウチもプチギレた！したら「なんちゃ?コレが投げよっち言うとか?(怒)」ち、千円札また投げた。ありえんやろ?思わず「おっちゃん、そげなんこつしたら、バチん当たるバイ、あっ!ごめんごめん、もうバチん当たつごたるけん、いらんこつちやたね、その格好」ち、言うたら、めっちゃ怒りよった(笑)もしそれで、なんか言われたら、大声で「きゃー怖い」て言えば、済むこつちやけん。ほんと、ろくなジジイじゃない!少し、温くなつと、この界限は、変な奴が徘徊すっけんねー!気を引き締めてさるかなでけん。で、今月から、また復活しましたので、宜しくお願いします。

**中国料理 上海酒家**  
久留米市六ツ門町2-16 第5泉屋ビル6F  
TEL.0942-39-8139  
営:11:30~14:30、17:00~21:00  
休:水曜  
shanhaishuka



### 神主四方山話 vol.10



久留米宗社 日吉神社 社務所  
久留米市日吉町106 / TEL.0942-32-3770  
営:9:00~17:00  
kurume\_sousya



神道では産霊という言葉が「むすひ」といいます。色々なものが生まれムスばれるという「むすひ」は「ムスビ・結び」に繋がっていきます。「むすひ」の力の源はタカミスビノ神・カミスビノ神のお働きによるものといわれます。我が国の四大人国学者(日本の古典を研究する人)といわれる本居宣長翁の『古事記伝』の中に「さて世間に有りとあることは、此ノ天地を始めて、萬つの物も、事業も悉に皆、此ノ二柱の産巢日(ムスビ)ノ大御神の産霊に資りて成り出でるものなり」とあります。同じく『玉鉾首』には「諸の成出る本は神産巢日、高御産巢日(ムスビ)の産霊(ムスビ)ぞ」と詠じられています。日吉神社の撰社 産霊宮はこの「むすひ」の二柱の神の霊徳を仰いで建立されました。よもやま、産霊宮にお参りすると外陣の扉の前

にお米やお酒がお供えされているのを確認出来ると思えますが、外陣の扉にピッタリとくっついている案(神社で使う机)が親指ほど移動していることがあります。この産霊宮にお祀りされている神様の一柱にカミスビノ神の子のスクナヒコナノミコトという神様がいらっしゃいます。とても小さなお姿をされているそうです。きつと少し扉を開けられ参拝されている皆様は「むすひ」の御神徳をおわがちになられているのだと思っています。これからの季節には、あちらこちらに新緑が芽生えはじめ産霊の力を目にすることが出来ます。

では皆様日々お健やかに過ごしてくださいませ。



サー  
SARのUWANTANA飯  
第四十八回  
〔太陽のいちご〕  
八女市星野村9783-1  
TEL:0943-52-2008  
uwantana71



SECONDのご愛読者の皆さん、お元気ですか?異様な寒暖差が、続いています。インフルエンザも流行っています。もう3月。春は、もうそこまで来ています。

今回、ご紹介するのは、絶品UWANTANAスイーツ。太陽のいちごの太陽のいちごチーズパイです。見た目も素敵なこちらのスイーツ、さくさくのパイ生地、あまおうソースがたっぷり、クリームチーズ入りの特製クリームが乗っています。ほよい酸味もあり、何個でも食べちゃいます。色んなメディアでも紹介され、売り切れ必至の人気商品です。まさにこちら、いちご天国。他にも、超完熟いちごや、いちご大福に、ソフトクリームやいちごミルクジュースなど、絶品のラインナップです。お好みで抹茶バージョンもあります。2011年に久留米市でオープンされ、2020年に、星野村へ移店されたとの事。それでも、地元はもちろん、遠方からも、この絶品スイーツを求めて、多くの方が来店されてあります。

まさに、いちご天国の絶品スイーツ。ぜひ一度ご賞味あれ。

### Dr.わーだーの養生記

vol.59

「高血圧と脳出血と認知症」

ここちいいん わだ とよみ  
心臓医院 院長 和田 豊都



国民の血圧の調査が始まったのは1956年。当時の死因の第一位は脳出血。多くは血圧が高かったのを死を免れた人は再発予防のために降圧剤を飲みましょう、ということになり『血圧の薬は飲み始めたら一生のまないといけない』という都市伝説が生まれました。調査が始まった頃の年齢10歳ごとの平均血圧はおおよそ『年齢+100』で、これを年齢標準と理解した人が多く、脳出血も歳のせいと考えた人が多かったものです。親族に高血圧や脳出血の人がいると発症しやすい家族性があることも分かり、減塩指導や良い降圧薬の登場で現在では高齢者でも平均血圧は140mmHg台となりました。最近では発症も救命率も上がりましたが皆さん高血圧の治療をしっかりとっておけば良かったと言われます。出血しなくても高血圧は放置すると必ずまだら認知症になり、治療に応じず、わがままで社会性がなくなり、自分も人も言うことを聞いてくれない、怒りに満ちた老後を感じなければなりません。そうなる前に!

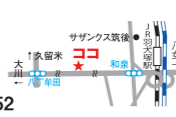
■ 心臓医院(ここちいいん)  
久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129  
診療時間: (月~土) 9:00~12:00  
(月火・木金) 19:00~22:00  
休診日: 日祝・盆・年末年始



### 家具屋の思い出話 (29) 「学生時代③」

Cozy Flat オーナー 仲洋史

明日阿蘇に行こう!よし、阿蘇山に登ろう!流れてそうだったみたいだが、下宿屋の先輩達と酒を飲んでいるとそういう話になった。みんなで酒を飲んでいると突拍子もない話になるのはよくある事。福岡から熊本阿蘇。近いつちや近いが、遠いつちや遠い。ギリギリの日帰り旅行だ。まあ夏が近い日だったのでラフな格好で行こうと言うことに決まった。朝集合してみると、先輩達は皆一応旅行するよねと言う服装で、揃って革靴を履いている。無論私も一足しか持っていない革靴を履いている。その中に1人2年生小柳先輩だけはサンダルだった。「サ、サンダル?」「だってラフな格好だと言ったじゃないですか。」ちよとむくれている。「まあそうは言ったけど、熊本、阿蘇山だよ。動かない。「まあいいか出発しよう。」列車に揺られながら、たわいもない話をし「しかし小柳最高だな。やっぱこうと決めたら曲げないよね!流石です。」小柳先輩はちよと馬鹿



Cozy Flat  
筑後市四ヶ所菅原田460-1  
TEL.0942-52-3480  
営:10:00~18:30  
休:水曜、第2・4木曜

にされながら先輩達に褒められていた。列車からバスに乗り継ぎそれからロープウェイでやっと阿蘇中岳火口付近に到着。普通に歩いて行ける第二火口から1度下って少し見上げる第一火口へ。勢いを付けて5メートル位駆け上る。先に走って行った先輩達が登った瞬間「わっ」と言う。何を脅かしてあるんすかと思ひながら僕らも駆け登った。登りきった瞬間。あらん限りの声でわーと叫んだ。登り切った所がてっぺんだった。足元30cm分が平らなだけでそこから50mを超える断崖になっており、その先に不気味に口を開けて白煙を出している本物の火口があった。落ちたら確実に地獄への入口だ。足がすくんだ。なぜ危険を知らせる看板がないんだ。死んだらどうするんだ。ほんとにそう思った。今は当然立ち入り禁止区域である。全員同じ顔をしていた。怖くて、涙を少し目じりにためて口をゆがめ今にも泣きそうな顔で固まっていた。ゴーゴーと

響く地球の唸り声を初めて聞いた。遠くに見える美しい山々とは正反対の吹き出るエネルギーの圧に叩きのめされていた。これが地球なんだ。色々を想い、色々を学んだ。私達は阿蘇中岳にびびり倒されて家路に向かった。列車に乗り少し時間が経って笑いが戻ってきた頃、足元を見ると、みんなの革靴は火口の砂で灰色になっていた。全員で小柳先輩のサンダルを想い出し彼の足を見た。彼の足は泥んこに汚れてはいたが、何せサンダル履きだから洗えばよかった。「小柳お前最高だな。さすがだよ。」小柳先輩は今日2度目にして心からみんなに褒められ、少し勝誇ったように「でしよう!」ですよ!よ!よ!よ!また行きましよう!と笑っていた。その時のしがらみのない仲間達の屈託のない笑顔は、阿蘇山のエネルギーにも引けを取らないくらい活き活きとしていた。

### もりさんぽ

vol.64 「ほとめきの心」

ヒト・モノ・コト ツナグ研究所  
商業活性 人材育成コンサルタント 久保 森住光  
moribon0511



春うらら。弥生三月のスタート。心も浮く感じが素敵な季節です。様々な催事も盛りだくさん予定されています。機会を見つけ、街へお出かけくださることをお待ちしております。

2月下旬の三連休に、『JFA第29回全日本フットサル選手権大会』のトーナメントが久留米アリーナで開催されました。静岡県のチーム「アグレミーナ浜松」が1回戦に出場。チームを率いて、旧知のまちづくり専門家(元県庁さん)が来久なさいました。このチームは、日本フットサルリーグ所属のプロチーム。各地を転戦していると言います。久留米市の印象を尋ねました。「良い街ですね!まちなかは綺麗で、魅力を感じます」と言われました。ありがたいなあと思っていると、その後「大きな公式戦ですから駅や商店街界隈に、「歓迎」の表示は出来ないものでしょうか?」と言われました。確かに…。

久留米は、「ほとめき」の街。素晴らしい施策や取り組み、催事、人材にあふれる場所だと思っています。その分、組織や団体、行政機関も数多く連携や運動が上手くいかない点もあるかと思ひます。主催や支援の形式、形態に多くが影響されています。何とかならないのか…。今回、あらためて感じました。ガンバロウ!と。

とは言え、文化の香りも高く、おもてなしの凄さも感じています。久留米ほとめき通り商店街「まちあるき」では、六ツ門で毎回「一箱古本市」が開催され、「一番街ギャラリー」は多くの作家の展示が目まぐるしく。また音楽も盛ん。六ツ門町にある「久留米トラノコカフェ」(久留米市六ツ門町10-30)では多くのジャズライブが行われています。それも、超一流のミュージシャンのライブが!毎回凄すぎなんですが、私の注目は6月22日(土)・23日(日)に予定されている、ジャズピアニスト・谷川俊作さん&ドラッグクイーン・エスムラルダさんのライブ公演。谷川さんの父は、谷川俊太郎さん。エスムラルダさんは、ライター・エディターとしても、ヘブナーアーティスト(東京都公認大道芸人)としても著名。こんな素敵な、素晴らしいライブが行われるなんて!本当に佳き街!なんですよ!久留米!